

東京オリンピックに向けた自転車の振興について (論点メモ)

①**東京オリンピックを契機に、自転車の持つ多様な魅力を活用して、自転車の関係者はどのようなことを目指すことができ、それをどのように図っていけばよいか。**

(参考)

- ・自転車の持つ魅力には、交通面、健康面、スポーツ面、ファッション面、娯楽面での良さ、生活に密着した利便性など、多様なものがあります。
- ・目指すことができるものとして、例えば、一般の方々に自転車競技を通じて「自転車の良さ」をより一層知って頂くことで、自転車利用者の裾野を拡大したり、地域を活性化したりすることなどがあります。
- ・東京オリンピックの開催は、自転車への一般の方々の認知を変えるチャンスになります。
- ・「自転車の良さ」を再発見する機運が盛り上がって、自転車の愛好者が拡大したり、ライフスタイルの質の向上につながったりすることで、自転車競技や競輪を支える裾野の拡大につながる可能性があります。他方で、これには現実的で具体的な方法論が必要となります。

②**競輪の振興とトラックレース競技でのメダル獲得をどのように両立して達成させ、競輪とトラックレース競技をどのように相互に発展させていけばよいか。**

(参考)

- ・競輪の振興とトラックレース競技でのメダル獲得の両立は、易しい課題ではないと考えられます。
- ・競輪とトラックレース競技とはルールが異なるため、競輪ファンの中には「国際ルールの競技はレース展開が面白くなく、競輪に持ち込めばファンは離れる。」との声があります。
- ・自転車競技について、競輪選手の事情として「競技に参加する際の日程やコンディションの調整面、コーナー角度が厳しい競技場への適応面、選手の育成指導・強化面、自転車機材面で、難しい面がある。」「競技での名誉よりも競輪での獲得賞金を優先してしまう。」との声があります。